



JAPAN HERITAGE

日本遺産

祝「日本遺産」認定

江差の五月は江戸にもない
—ニシンの繁栄が息づく町—



「日本遺産」とは

「日本遺産」とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援する制度です。

この制度は、文化庁が平成 27 年度から始め、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックまでに 100 件程度が認定される予定です。

江差町の「日本遺産」ストーリー

平成 29 年 4 月 28 日、江差町が申請していた「江差の五月は江戸にもない ニシンの繁栄が息づく町」というタイトルのストーリーが「日本遺産」に認定されました。

平成 29 年度は全国から 79 のストーリー申請があり、江差町を含む 17 のストーリーが認定されました。北海道では第 1 号の認定です。

認定されたストーリーのタイトルと概要は、次の通りです。

江差の五月は江戸にもない ニシンの繁栄が息づく町

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の交易によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。

ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



ニシンによる繁栄が息づく江差の町並み



ニシンを用いた食文化

「日本遺産」のストーリーに関連する文化財

No.	文化財の名称	ストーリーの中の位置づけ
1	江差の町並み	ニシン交易を担った商家が、屋号を掲げて建ち並ぶ。
2	旧中村家住宅	近江商人が建てた商家。若狭瓦が葺かれている。
3	江差姥神町横山家	能登商人が江差に移住して建てた商家。
4	旧檜山爾志郡役所庁舎	福井の笏谷石が土台に使われ、能登瓦が葺かれている。
5	かもめ島	天然の防波堤となり港を守った。
6	折居伝説とその資料	江差にニシンをもたらしした伝説とその資料。
7	瓶子岩	江差にニシンをもたらしした伝説にまつわる岩。
8	姥神大神宮	江差にニシンをもたらしした伝説にまつわる神社。
9	北前船係船柱及び同跡	ニシン交易船が係船した跡。
10	巖島神社	ニシン交易を担った人々が航海安全を祈願した神社。
11	巖島神社の石鳥居	加賀国の船頭たちが寄進した石鳥居。
12	巖島神社の手水石	ニシン交易を担った人々が寄進した手水石。
13	かもめ島の階段跡	巖島神社へ参拝するための階段跡。
14	江差商人の宴席跡	ニシン交易で潤った商人が宴を行っていた場所。
15	ニシン漁と交易の古文書	ニシン漁と交易について記録した古文書資料。
16	江差沖揚音頭	ニシン漁の様を伝える民俗芸能。
17	江差鮫踊り	ニシン漁の邪魔となるため駆除された鮫の霊を慰める民俗芸能。
18	江差追分	ニシン交易を担った人々によって伝えられた民謡。
19	江差追分踊り	江差追分に合わせて踊られる芸能。
20	江差三下り	ニシン交易を担った人々によって伝えられた民謡。
21	姥神大神宮渡御祭	江戸時代から伝わる姥神大神宮の祭礼。
22	江差姥神大神宮祭礼山車松寶丸及び附属品	姥神大神宮渡御祭に出される山車。
23	江差姥神大神宮祭礼山車神功山人形及び附属品	姥神大神宮渡御祭に出される山車。
24	江差餅つき囃子	商家が年末に行っていた餅つきの様を伝える民俗芸能。
25	三平汁	ニシンを材料にした料理。
26	ニシン漬	ニシンを材料にした料理。

江差町の「日本遺産」に関連する文化財

「日本遺産」は、ストーリーとともに、ストーリーに関連する文化財群も認定されています。まちなかを歩いて「ニシン繁栄」を物語る文化財を訪ねてみましょう。



1 江差の町並み



2 旧中村家住宅



3 江差姥神町横山家



4 旧檜山爾志郡役所庁舎



5 かもめ島



7 瓶子岩



8 姥神大神宮



9 北前船係船柱及び同跡



10 巖島神社



11 巖島神社の石鳥居



12 巖島神社の手水石



13 かもめ島の階段跡

*番号は、前ページの表と対応しています。



江差追分会館と江差山車会館では、「18 江差追分」と「21 姥神大神宮渡御祭」を体感することができます。